

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-71	中学校	外国語	英語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17教出	英語017-82	ONE WORLD English Course 2		

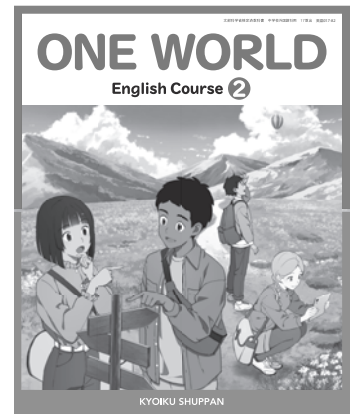
## 1. 編修の基本方針

### 「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

#### 英語を使って、世界で生きていく

「人と人の『輪』をつなぐ、コミュニケーションツールとしての英語」  
「平『和』なグローバル社会を築くための英語」  
「調『和』を大切にしながら、世界で活躍する人材になるための英語」  
—3つの『わ』を実現するための英語、この教科書で身に付けていきます。



#### 特色 1

#### 実際のコミュニケーションに使える英語の力をつける

- ▶ 明確な目標を意識しながら、見通しをもって学び進めることができます。
- ▶ 4技能5領域をバランスよく身に付け、コミュニケーションツールとしての英語の力を伸ばします。

#### 特色 2

#### 主体的に学び、考え、伝え合う

- ▶ 生徒の学習意欲を高める題材・活動で、主体的に学ぶ姿勢を育てます。
- ▶ 身に付けた知識・技能を横断的に活用する機会を数多く設け、思考力・判断力・表現力等を養います。

#### 特色 3

#### デジタルコンテンツで英語の学びを支える

- ▶ 二次元コードや学習者用デジタル教科書から豊富な音声や動画にアクセスでき、いつでもどこでも繰り返し英語にふれることができます。
- ▶ デジタルコンテンツを活用することで、英語に慣れ親しみ、理解を深め、もっと「知りたい」「学びたい」という意欲に応え、個別最適な学びを実現します。

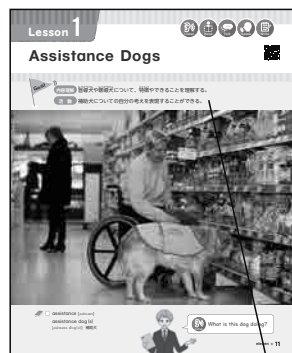
# 特色 1

## 実際のコミュニケーションに使える英語の力をつける

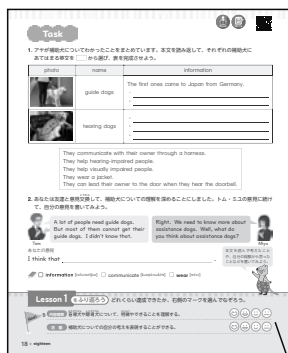
### ① 見通しをもって学ぶ

単元の扉で (1)「内容理解の目標」、(2)「活動の目標」を示してあるので、単元末まで見通しをもって学ぶことができます。

目標を意識しながら学び進め、単元末のふり返りで達成度を確認する、主体的に学ぶサイクルになっています。



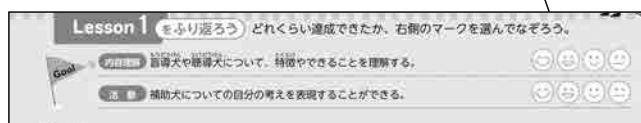
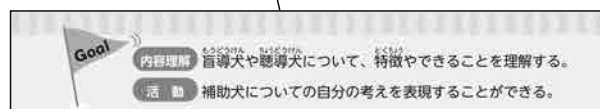
Lesson 1 扉 (p. 11)



Lesson 1 Task (p. 18)



Can-Do 自己チェックリスト (後見返し)

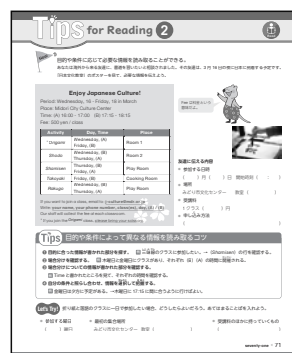


**【Can-Do 自己チェックリスト】**  
4技能5領域それぞれの学習到達目標を提示しています。当該学年以外の目標も掲載しているので、学年末のふり返りだけでなく、3年間の学習の見通しを立てる際にもご活用いただけます。

### ② 4技能5領域の力が身に付く



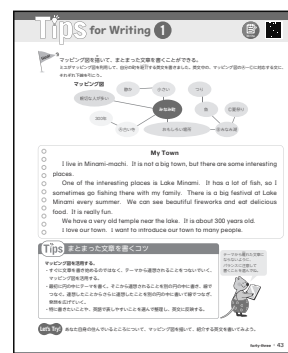
Tips for Listening (p. 32)



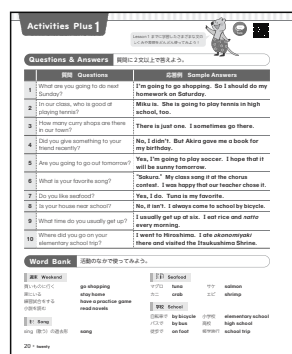
Tips for Reading (p. 71)



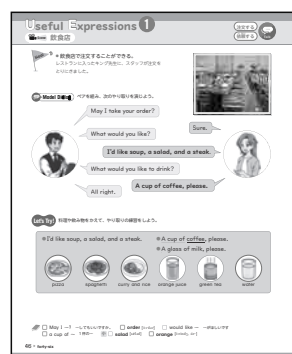
Tips for Speaking (p. 84)



Tips for Writing (p. 43)



Activities Plus (p. 20)



Useful Expressions (p. 46)

単元以外でも、4技能5領域の力を養う活動に取り組むことで、コミュニケーションツールとしての英語の力をバランスよく伸ばします。

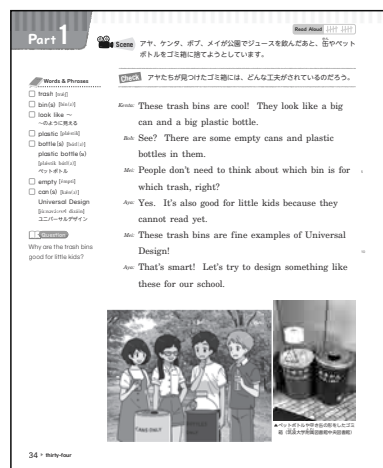


# 特色 2

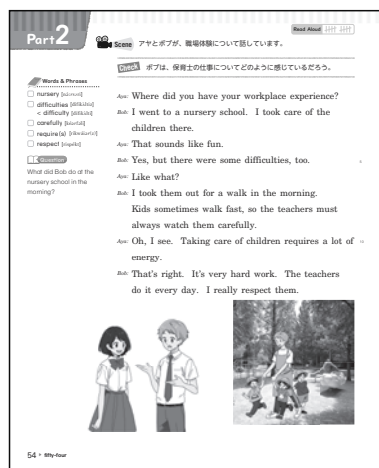
# 主体的に学び、考え、伝え合う

## ① 多様な題材を通して学ぶ

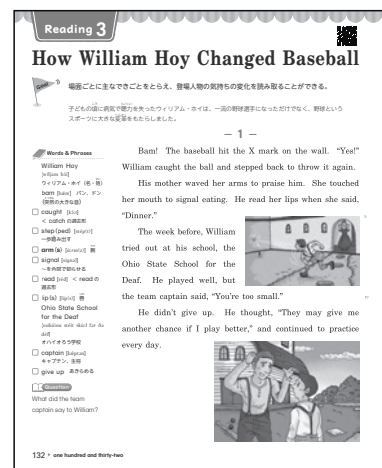
日常生活から社会的なテーマまで、多様な題材をもとに考える機会が用意されており、主体的に学ぶ姿勢を育てます。



ユニバーサルデザインについて (p. 34)



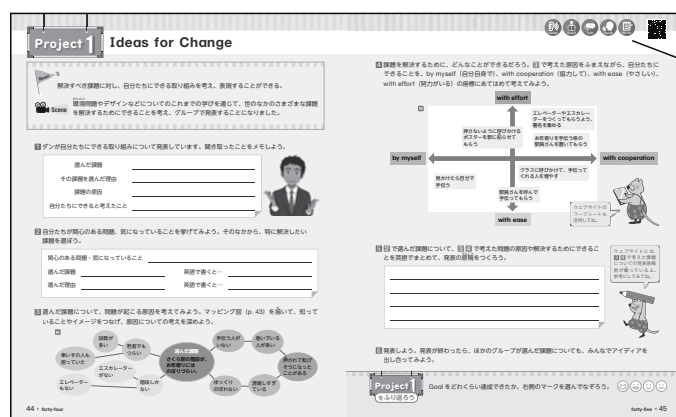
職場体験について (p. 54)



耳の聞こえない野球選手の実話 (p. 132)

## ② 技能を組み合わせ、統合的に学ぶ

単元に関連したテーマで、楽しみながら思考し、発表ややり取りなどの活動につなげます。



技能を示すアイコン

複数の単元を通して学んできた知識や技能を横断的に活用して、主体的・対話的で深い学びを実現します。

Project 1 (pp. 44~45)

## ③ 思考力・判断力・表現力等が身に付く

単元の題材に関連した、話す(やり取り、発表)・書く活動を通して、英語で考え、表現する経験を積み重ねていきます。



Lesson 3 Part 1 Think & Try! (p. 35)



巻末掲載：Think & Try! 活動例 (p. 154)



巻末の「Think & Try!活動例」を参考にすることで、主体的に自分の考えを表現するためのイメージをもつことができます。

## 特色 3

## デジタルコンテンツで英語の学びを支える

### ① 音声や動画などの豊富なコンテンツに繰り返しアクセスできる

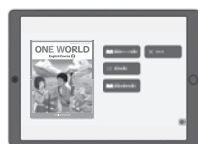
各ページにある二次元コードから「まなびリンク」にアクセスし、音声进行いたり、動画を見たりすることができます。学習者用デジタル教科書とともに、学びを確かなものにします。



「まなびリンク」のURL

「まなびリンク」は、学習に役立つ素材を集めた、安心できる当社のウェブページです。

学習者用端末



学習者用デジタル教科書画面の例

### ② 一斉授業だけではない、多様な学びを支援する

#### 協働学習で

**Task**

1. 本文を読み返して、次のジェスチャーや手話の動画に当てはまる英語を \_\_\_\_\_ に書こう。

In some countries, making a "\_\_\_\_\_ " like this is an insulting gesture. It can make people \_\_\_\_\_ .

This sign is called a "\_\_\_\_\_ " in English. It is used in \_\_\_\_\_ to show that you like something. However, it is an insulting gesture in some countries.

This is \_\_\_\_\_ Sign Language. It means "\_\_\_\_\_ ".

2. あなたは海外から遊びにきた友達とコンビニエンスストアに来ました。友達に、手話で示した商品がどんなものかわからないようです。親と問はれるもので、どういふものを指しているかを書いてあげよう。

What's this?

We call it "curry pan". It's a kind of bread. It has curry in it. It's hot but it's really tasty.

3. 友達と一緒に、コンビニエンスストアで買いたい商品がなかったらどうするかを考えて、手話で表現しよう。

Lesson 9 (さうりょう) どれくらい読めたか、右側のマークを塗る。また、ジェスチャーや手話がつかえたり、読まずに読めることを確認しよう。

124 view hundred and twenty-four

Lesson 9 Task (p. 124)

#### 個別／家庭学習で

**Grammar** Lesson 9 で学んだ文法

How to Use

1. 「こんな状況で、状態になったか」を伝えるとき  
The news made me happy.  
The baseball game last night made me excited.

2. 呼びかけや命令を伝えるとき  
We call this flower a rose in English.  
I call my cat Tama.

3. 許可を得るとき、誰が手助けしてくれるのかを言うとき  
Let me talk about my winter vacation.  
Bob helped me do my English homework.

Let's Use

A: Let me talk about the recent news because it made me so happy.  
B: What's up?  
A: My favorite soccer team won yesterday.  
B: I heard that, too. That news made me excited!  
A: I didn't know you liked soccer.  
B: I love it. Soccer helped me make many friends.

one hundred and twenty-five + 125

Lesson 9 Grammar (p. 125)

「まなびリンク」からダウンロードできるワークシートにメモしたり、作文したりしたことを共有することで、さらに学び合いを活性化させます。

単元内の各パートで学習した Key Sentences (基本文) を、会話の場面ではどのように使うのかをいつでも動画で確かめ、練習することで、英語で表現するための基礎力を身に付けます。

#### 個別／家庭学習で

**Part 3** Lesson 6-3

ボクはここをエスリーが、最高のアジアンを旅行しています。

There are many interesting places to visit in the U.S. Let me tell you about Arizona because I am from there.

The Grand Canyon National Park is a World Heritage Site in the U.S.

It's really huge.

You can see many kinds of animals there, such as bobcats, squirrels and bears.

Antelope Canyon is as amazing as the Grand Canyon.

再生 一時停止 早送り 遅送り 音量 設定 印刷

学習者用デジタル教科書では、本文のハイライト表示や読み上げ速度の変更が可能です。自学自習にも活用しやすく、個別最適な学びに応えます。





## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Review Lesson	Ms. King's Trip with Her Friend…中学1年までに学習した文構造及び文法事項をふり返り、中学2年の学びへの準備をする。しなみ海道と俳句の盛んな松山を取り上げ、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養う。【第5号】	pp. 6～10
Lesson 1～9の題材	①: Assistance Dogs…盲導犬や聴導犬についての話題を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。【第3号】 ②: Energy Sources for Our Future…エネルギー問題に関心をもち、再生可能エネルギーについて自分の考えを発表する本文を通して、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。【第4号】 ③: Design Makes Change…さまざまなデザインの工夫についての話題を通して、創造性を培うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。【第2号】 ④: Workplace Experience…職業体験の話題を通して、自主及び自律の精神を養う。職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。【第2号】 ⑤: How to Celebrate Halloween…ハロウィーンについてやハロウィーンとお盆の共通点を学ぶことを通して、他国の文化を尊重するとともに、日本の伝統と文化を尊重する態度を養う。【第5号】 ⑥: Castles and Canyons…日本の城やアメリカのグランドキャニオンの話題を通して、他国の伝統と文化を尊重するとともに、我が国と郷土を愛する態度を養う。【第5号】 ⑦: The Gift of Giving…クリスマス・カードの起源や慈善活動についての話題を通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。【第1号、第3号】 ⑧: Rakugo in English…英語で落語を演じる落語家の体験や英語落語を通して、伝統と文化を尊重し、他国を尊重し、国際社会に寄与する態度を養う。【第5号】 ⑨: Gestures and Sign Language…国によりジェスチャーの意味や手話が異なることについての話題を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、他国を尊重する態度を養う。【第3号、第5号】	pp. 11～19 pp. 23～31 pp. 33～41 pp. 51～59 pp. 61～69 pp. 73～81 pp. 85～93 pp. 107～115 pp. 117～125
Lesson内の構成	扉ページに掲げた「内容理解」と「活動」のGoalを達成できるように、Part 1～3、Task、Grammarが構成されている。Part 1～2のThink & Try!及びPart 3のRead & Try!は本文を活用した自己表現機会になっており、Taskでは自己表現を含むかたちでLessonをふり返る。Grammarでは、コミュニケーションを円滑にするための素材として言語材料が整理されている。Lessonを通して幅広い知識と教養を身に付けるとともに、創造性を培う。【第1号、第2号】	各Lesson
Project 1, 2, 3	伝えたい、話し合ってもっと理解を深めたいと思わせるような言語活動が充実している。 ①: Ideas for Change…自分たちができる取り組みを考えて表現する活動を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。【第3号】 ②: My Dream Travel…自分が行ってみたい場所について書いて発表する活動を通して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。【第2号】 ③: Let's Introduce Japanese Culture…実践的なコミュニケーションの場を設定し、日本の文化を紹介する英文を書くことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばす。【第2号、第5号】	各Project pp. 44～45 pp. 96～99 pp. 128～131
Reading 1, 2, 3 Further Reading	R①: Six Amazing Things about Penguins…ペンギンのあまり知られていない生態についての本文を通して、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。【第4号】 R②: The Gift of Tezuka Osamu…手塚治虫の生涯についての本文を読んで、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、また創造性を養い、自主及び自律の精神を養う。【第2号】 R③: How William Hoy Changed Baseball…メジャーリーガーとなった聴覚障がいのある野球選手の実話を読んで、個人の価値を尊重し、また創造性を養い、自主及び自律の精神を養うとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。【第2号、第3号】 FR: Somebody Loves You, Mr. Hatch…バレンタインデーのプレゼントをめぐる心温まる物語を読み、豊かな情操を培う。【第1号】	pp. 47～50 pp. 100～105 pp. 132～136 pp. 137～142
Tips for Listening / Reading / Speaking / Writing	5つの領域に関わる言語の使用場面や動きを踏まえたコミュニケーション活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培う。【第2号】	pp. 21, 22, 32, 43, 60, 71, 72, 83, 84, 95, 116, 127
Activities Plus	学んだ表現や言語材料を自由に活用できるQ&A。常活動などでの友達との会話を通して定着を図るとともに、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	pp. 20, 42, 70, 94, 126
Useful Expressions	①飲食店での注文、②買い物のやり取りを通して、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	pp. 46, 106
How to Study	生涯にわたって学習する基盤づくりのため、主体的に学びに向かう態度を養うことができるよう、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	前見返し
二次元コード	二次元コードが各所に掲載されており、①LessonやReading, Further Readingの本文音声、②Words & Phrasesのワークシート、③書き込みコーナー用ワークシート、④GrammarのLet's Useコーナー用動画、⑤Activities Plus等の音声、の各要素を授業中でも家庭学習でも利用することができ、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	Lesson等の各ページ
付録、巻末資料	辞書の使い方、重要構文復習リスト、Think & Try!活動例、分野別用語集など、生徒の自律的な学びを支える付録・巻末資料を配置した。【第2号】	pp. 5, 144～後見返し

## 3. 上記の記載以外に特に意を用いた点や特色

### 学習を支えるさまざまな配慮

専門家による校閲を受け、人権を尊重し、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

#### 人権教育

社会の多様性を踏まえ、人権を尊重し、あらゆる差別をなくすため、イラストを含め表現や活動に配慮しました。

#### 特別支援教育

シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容がわかりやすくなるように配慮しました。

#### カラーユニバーサルデザイン

色覚の個人差を問わず、識別しやすい配色を用い、だれにとっても学習しやすい紙面になるように配慮しました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-71	中学校	外国語	英語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17教出	英語017-82	ONE WORLD English Course 2		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 特色 1

実際のコミュニケーションに使える英語の力をつける

### シンプルで学びやすい構成で力を養う

シンプルな紙面と単元構成で、4技能5領域の力をバランスよく身に付け、思考力・判断力・表現力等を段階的に養います。単元をいくつか学習した後は、積み上げた力を積極的に活用できる活動で、さらに力を磨きます。

**扉**

↓ 単元の目標を捉える

**Part 1&2**

↓ 基礎的な知識・技能の習得

**Part 3**

↓ 読むことに重点を置いた活動


**Task / Grammar**

学んだ知識・技能の活用やまとめ、ふり回り


↓

**Project** 学んできた知識・技能を活用しつつ、5領域の力を統合的に活用

各単元の構成・流れは一定です。



Lesson 6 (pp. 73~81)



Project 2 (pp. 96~97)

## 特色 2

## 主体的に学び、考え、伝え合う

### 基礎を確実に身に付けたうえで、自分の考えを発信する



Key Sentences / Tool Kit の例 (p. 25)

単元で学習する基本文を確認・練習します。

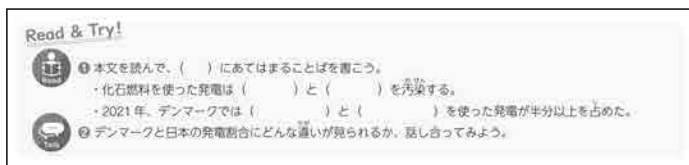


Let's Listen の例 (p. 25)

音声を聞いて、基本文の使い方を定着させます。

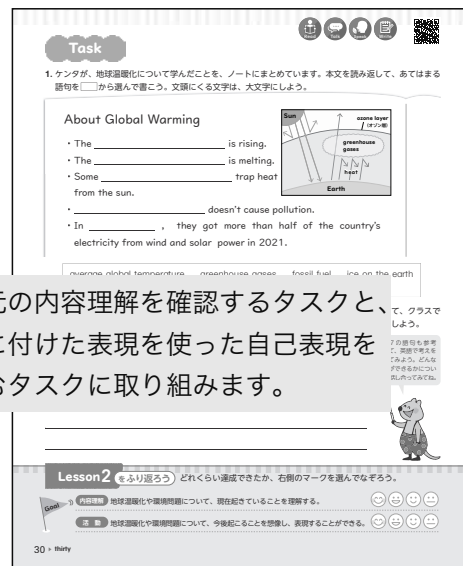


Think & Try! の例 (p. 25)



Read & Try! の例 (p. 29)

単元の題材をもとにして、自分の考えを発表したり、伝え合ったりします。



Task の例 (p. 30)

単元の内容理解を確認するタスクと、身に付けた表現を使った自己表現を含むタスクに取り組みます。

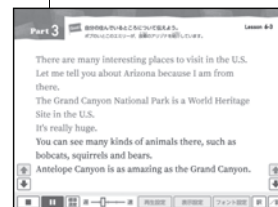
## 特色 3

## デジタルコンテンツで英語の学びを支える

### 豊富なコンテンツで、さまざまな場面での学習を支援する

	コンテンツ	学習場面
まなびリンク	本文音声、Tips for Listening 及び Project の活動用音声 帯教材 (Activities Plus) 音声 活動記入用ワークシート、語句練習用ワークシート 文法動画 (Grammar ページの Let's Use) 活動用カード	個別／家庭学習で 個別／家庭学習で 協働／家庭学習で 個別／家庭学習で 協働学習で
学習者用 デジタル教科書	本文の音声＋文字表示 (速度調整＋ハイライト表示) Words & Phrases 音声	個別／家庭学習で

さまざまな学習場面で活用できるデジタルコンテンツで、個別最適な学び、協働的な学びに応えます。





## 検討の観点と内容の特色

観点	内容の特色
1. 内容の取扱い	
教育基本法との関連	教育基本法第2条（第1号～第5号）を踏まえ、教材を選定・開発しています。（「教育基本法との対照表」p.5参照）
学習指導要領に示された教科の目標を達成するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニケーション能力の育成を目指し、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の5つの領域別に設定された目標をそれぞれ達成できるように内容を選択・配列しています。また、実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく活動を豊富に配置し、「コミュニケーションを図る資質・能力を育成」できるように内容を選択・配列しています。</li> <li>●資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を総合的に育成できるように、英語で意思や情報を伝え合う対話的な活動や協働して問題解決に当たる活動を盛り込み、生徒一人一人の「生きる力」の育成に寄与し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように工夫しています。</li> </ul>
自主的・自発的な学習への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●巻頭に教科書への導入としてWelcome to ONE WORLD English Courseを設け、「この1年でチャレンジしたいことを書いてみよう。」の欄に自由に書き込ませることにより、英語学習や英語を通じたコミュニケーションへの期待と、生徒一人一人の学習意欲を喚起する仕組みを設けています。</li> <li>●Lessonの冒頭で単元の目標をCAN-DO記述文のかたちで示すことにより、当該Lessonの学習が終わった時点でできるようになっている姿をあらかじめイメージし、それを意識しつつ授業に臨み、最後に自己評価ができるように工夫しています。「Lesson〇をふり返ろう」でも目標を再掲し、「資質・能力」に基づくふり返りの観点を示し、どの程度達成できたか、生徒自身が評価できるようになっています。</li> <li>●How to Studyや「辞書の使い方」ページを設け、自主的な学習をスムーズに行うためのアドバイスを掲載しているほか、さまざまな自己表現活動に役立つ語彙「分野別用語集」を巻末に掲載し、必要に応じて参照できるように構成しています。</li> </ul>
2. 内容の程度	
小学校外国語科との接続に配慮した内容	●小学校の外国語活動で行ったコミュニケーション活動について、1年Springboard 1～6でふり返りができるようにしています。1年Lesson 1～Lesson 3 Part 1までの早期段階で小学校で学習した表現や文型、文法事項を再び扱うことで、基本的な表現を確実に定着できるように構成し、中学校で学ぶ言語材料を導入する前のふり返りの場として整理しています。
生徒の発達段階に適した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年間を通して、言語材料・言語活動のそれぞれについて、発達段階に適合した内容を選択し、配列しています。</li> <li>●各Lessonの題材内容については、生徒の発達段階、興味・関心に配慮し、クラス内での自己紹介から、学校や地域、国内、海外へとさまざまな分野について、徐々に視点が広がっていくように構成しています。</li> </ul>
言語材料の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語材料は、基本的な「音声」、「文字及び符号」、「語、連語及び慣用表現」、「文、文構造及び文法事項」を丁寧に取り上げ、学習の進度や言語活動との関連を踏まえて、バランスよく、段階的に配置しています。語、連語及び慣用表現については、自己表現活動に使えるように、中学生にとって身近なものを選定しています。</li> <li>●各言語材料はコミュニケーションを支えるためにあるものとして、どのような目的や場面、状況で使われるかを生徒が理解できるように、Sceneとして示しています。</li> </ul>
基本文、文法解説、語彙の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson各Partには、本文に登場した重要な文構造や文法事項の典型例をKey Sentenceとして掲げ、Lesson末のGrammar内、How to Useコーナーで丁寧に解説とともにまとめて整理しています。その基本文を含む対話例をLet's Useとして掲載し、部分置き替えて対話練習する機会を設けています。</li> <li>●各基本文の定着を図るため、各PartにTool Kitとして置き替え練習を設け、当該の文法事項を含む比較的容易なリスニング活動Let's Listenも設けています。</li> <li>●語彙は、本文中及びTool Kit、Taskページ等に登場した新出語をWords &amp; Phrasesとして掲げ、「発信語」は太字で示されています。小学校既習扱いの重要語については「小学校の発信語」として併記し、定着させられるように工夫しています。</li> </ul>
言語活動の取り上げ方	●「知識及び技能」を活用して「思考力・判断力・表現力等」を身に付けるための具体的な言語活動となるよう、また生徒自身の興味・関心や経験等を発信できるように、Think & Try!, Read & Try!, Task, Project等の各コーナーに言語活動を適切に配列しています。
生徒の興味・関心に即した題材内容	●主体的な学びを促進し、対話的な学びへと導くため、生徒の興味・関心に合った題材をLesson本文及び活動やProjectの活動の題材として設定しています。
他教科、道徳等との関連	●他教科とのつながりがある題材を多くの単元で取り上げています。例、Lesson 1（道徳）、Lesson 2（理科）、Lesson 3（美術）
高等学校との接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新出文法事項は3年Lesson 5までに扱い終える仕組みになっており、高校入試までに定着を図る期間を十分に確保することができます。</li> <li>●Tips for Listening / Reading / Speaking / Writingで、さまざまなコツを習得していくことで、高校からの英語学習にも役立つ基礎を身に付けることができます。</li> <li>●Reading及びFurther Readingの読み物の語数は、学年が進むにつれて段階的に増加し、約200語から約600語までの英文を読む訓練が積めるように構成しています。</li> </ul>
ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●紙面上の二次元コードを通じてアクセスするウェブサイト「まなびリンク」を設け、音声やワークシートなどの良質なデジタルコンテンツを教室での協働学習・個別学習だけでなく、家庭学習でも活用できるようにしました。二次元コードを利用できない場合は、p.1に掲載しているURLからアクセスすることができます。</li> <li>●学習者用デジタル教科書において、教科書本文のネイティブ音声（速度調整可）を、文字をハイライト表示しながら聞くことができるようにするなど、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにするように配慮しています。</li> </ul>



3. 組織・配列・正確性

内容の組織・配列

●Lessonの冒頭に「**単元の目標**」を示し、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にし、Lesson末のTaskで単元の目標に関連したやり取りや作文、発表をする構成にしています。学習の見通しを立て、コミュニケーションの目的を意識しつつ、Lesson内の各活動を進めていけるように工夫しています。

●Lessonは、扉ページで話題・題材への興味・関心を誘い、Part 1, 2（短めの本文と「聞く」「話す／書く」活動を通して、特に重要な基本文の理解と定着を図る）と、Part 3（長めの本文を「読む」活動と「聞く」活動を通して、より深い学習と発信力の伸長を図る）、Task（本文の内容理解確認の活動と、技能統合的な活動）、Grammar（文構造、文法事項のまとめ）で構成しています。

●Lesson間には5領域に関わるさまざまなTipsやUseful Expressions等が配置されており、統合的な活動を年3回行うProjectも併せて、5領域の力をバランスよく伸ばし、基礎から実践的な活動まで行うことができるように構成しています。

●帯活動などで活用することで既習言語材料の定着を図るActivities Plusを設け、既習の言語材料を使って表現することができるQ&Aを10題ずつ配置し、ペア・ワークなどを通して「話すこと[やり取り]」を取り入れる機会を豊富に設けています。

言語材料の組織・配列

●文構造・文法は、関連のあるものを同じLessonや連続したLessonで扱うなど、バランスよく配列しています。小学校で学んだ事項は1年Lesson 3までに触れる機会を設け、小学校での学習を定着させたうえで、中学校での新出事項にスムーズに移行していけるように配列しています。

●音声事項については、本文脚注に整理され、語と語の連結による音変化、文中の強勢・イントネーションなどについて適切に取り上げています。

付録、補充資料

●「語形変化のまとめ」、「形容詞・副詞比較変化表」（2年・3年）、「不規則動詞変化表」、「重要構文復習リスト」、「Think & Try! 活動例」、「分野別用語集」（1年・2年）、「Word List」、「つづりと発音」、「Can-Do 自己チェックリスト」を掲載しています。

4. 分量

扱う語数

●語彙は、小中学校の教科書で頻出のものやCEFR-Jの語彙リストのA1レベルを中心に選定しています。小学校で既習扱いとした語を**600語**と設定し、それに加えて中学校の新出語約**1,700語**を加えた約2,300語を扱っています。

●上記約2,300語のうち、小学校既習語から435語、中学校新出語から465語の**合計900語**を「**発信語**」と設定し、側注Words & Phrasesや巻末Word Listでは太字で示しています。

●中学校の新出語は、教科書本文だけでなく、本文以外の部分でも扱うことで、学習時の負担を軽減しています。（Tool Kit、Task、Useful Expressionsなど）

小学校の既習語	中学校の新出語		
600語	約1,700語（1,688語）	本文 1,459語	1年552語、2年635語、3年501語
		本文以外229語	
そのうち発信語435語	そのうち発信語465語		

各内容の分量の配分

●各学年とも7～9つのLessonと、新出の文構造・文法事項が登場しないReading, Further Readingから成っています。各コーナーの活動も精選されており、適切な分量を配分しています。

全体の分量、指導時数

●指導時数の目安は、思考力・判断力・表現力を育成する言語活動の時間を考慮したうえで、1年109時間、2年109時間、3年106時間となっており、**年間指導時数内で余裕をもって指導できます。**

5. コミュニケーション

言語の使用場面・働き

●各Lessonなどにおいて、**Goalや指示文で「言語の働き」と「言語の使用場面」**を明確に示しており、また多様な働きと場面を扱っています。活動を通して、実際のコミュニケーションにおける言語材料の意味や適切な使用場面が体験的に理解でき、生徒の「**思考力・判断力・表現力**」の育成に資するように配慮しています。

4 技能・5 領域のバランスや統合

●「**Can-Do 自己チェックリスト**」において、5つの領域での1年間の学習目標を明確に示し、年度末時点での到達度を自己評価することができるように整理しています。

ペア・ワーク、グループ・ワーク

●Activities Plusでは、既習の言語材料を用いてさまざまな話題における応答例を示しているほか、**GrammarページのLet's Use**は、学んだ文構造や文法事項を含む対話文等を自由に入れ替えて展開できる仕組みで、ペア・ワークによる口頭練習に継続的に取り組めるよう工夫しています。

●Projectには、グループ・ワークで効果的に取り組むことができる活動を多く取り入れています。

6. 造本・印刷／取り組み・教育配慮

挿絵・図版・写真等

●挿絵・図版・写真は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや、作品世界を活かし、生徒の想像力を高めるイメージ豊かなものを掲載しています。また、学習活動の手順や留意点をわかりやすく示したものの、学習上必要なものを適所に取り上げています。

活字の書体、4 線等の扱い

●**手書き文字に近く判読しやすいフォント**を開発し、Springboard、1年Lesson 3までの本文、Task、Tipsで扱っています。また、全学年のアイコン等は判読しやすいフォントで示されているので、安心して各ページの学習に取り組むことができます。

造本・印刷

●製本は網代綴じで、開本しやすく、堅牢です。美しいカラー印刷で、文字は鮮明です。

SDGs への取り組み

●現代社会の問題を自らの課題と考えられる生徒を育てるように、**SDGsに関わる題材**を多く取り入れ、専門家による校閲を受け、英語を学びながらSDGsに通じる見方・考え方を養えるようにしています。

ユニバーサル・デザイン、人権教育・特別支援教育への配慮

●特別支援についての専門家による校閲を受け、紙面上のさまざまなアイコン、イラスト、図表などの判読・理解において、色覚特性による影響が生じないように配慮しています。**すべての学習者にとって見やすくわかりやすい配色**が施されており、**CUDO（NPO法人カラーユニバーサル機構）による認証マーク**を取得しています。

●**人権的配慮**についても専門家による校閲を受け、多様な視点から配慮しています。

## 2. 対照表

### 【第2学年】

※言語活動 L: 聞くこと R: 読むこと SI: 話すこと(やり取り) SP: 話すこと(発表) W: 書くこと

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当 時数
	主な言語材料等	言語活動	言語の働き			
			場面	働き		
How to Study	英語の学び方ガイド				前見返し	1
辞書の使い方					5	－
Review Lesson: Ms. King's Trip with Her Friend	既習言語材料の復習 (be going to / will, there is[are] ～ / How many ～ are there ...?, have to, should)	L, R, W	ア、イ	ア、イ、ウ、オ	6～10	3
Lesson 1: Assistance Dogs	SVOO / I think など+ that 節 / I'm sorry など+ that 節	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	11～19	7
Activities Plus 1	Lesson 1 までの言語材料での Q&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	20	帯
Tips for Speaking①	会話をつなげるコツ	SI		ア、ウ、オ	21	1
Tips for Reading①	長めの英文の概要を把握するコツ	R		ウ	22	1
Lesson 2: Energy Sources for Our Future	when 節 / if 節・because 節 / 過去進行形	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	23～31	7
Tips for Listening①	アナウンスなどから必要な情報を聞き取るコツ	L	イ	ア、ウ、オ	32	1
Lesson 3: Design Makes Change	不定詞 (名詞的用法、副詞的用法 [目的]) / 動名詞 (目的語)	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	33～41	7
Activities Plus 2	Lesson 3 までの言語材料での Q&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	42	帯
Tips for Writing①	まとまった文章を書くコツ (マッピング図)	W	ア	ウ、エ	43	1
Project 1: Ideas for Change	自分たちのできる取り組みを考え、発表する	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	44～45	2
Useful Expressions ①	飲食店	R, SI	ア、イ	ア、ウ、オ	46	1
Reading 1: Six Amazing Things about Penguins	イラストや写真を参考にしながら、説明文の概要を理解する	R	ア	ウ、オ	47～50	4
Lesson 4: Workplace Experience	不定詞 (形容詞的用法) / 動名詞 (主語) / SVO <sub>1</sub> O <sub>2</sub> (V = tell など、O <sub>2</sub> = that 節)	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	51～59	7
Tips for Speaking②	英語での言い方がわからないものを説明するコツ	SI, SP	ア	ウ	60	1
Lesson 5: How to Celebrate Halloween	SVO (O = 疑問詞 + to 不定詞) / It is ～ (for+ 〈人〉 ) to do / SVO <sub>1</sub> O <sub>2</sub> (V = tell など、O <sub>1</sub> = 〈人〉、O <sub>2</sub> = how to do など)	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	61～69	7
Activities Plus 3	Lesson 5 までの言語材料での Q&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	70	帯
Tips for Reading②	目的や条件によって異なる情報を読み取るコツ (ポスター)	R	ア	ウ、オ	71	1
Tips for Speaking③	図や表などの内容を伝えるコツ (ごみ分別のルール)	SP	ア	ウ、オ	72	1
Lesson 6: Castles and Canyons	比較級 / 最上級 / 比較の表現	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	73～81	7
対で覚えたい形容詞	比較級・最上級を含むクイズづくり	SI, W	ア	ウ、オ	82	1
Tips for Writing②	スピーチ原稿を書くコツ	W	ア、イ	ウ、エ	83	1
Tips for Speaking④	スピーチをよいものにするためのコツ	SP	ア		84	1
Lesson 7: The Gift of Giving	受け身の文 (肯定文、疑問文) / 助動詞 + 受け身	L, R, SI, SP, W	ア	ア、ウ、エ、オ	85～93	7
Activities Plus 4	Lesson 7 までの言語材料での Q&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	94	帯
Tips for Listening②	空港のアナウンスを聞き取るコツ	L	イ	ウ、オ	95	1
Project 2: My Dream Travel	行ってみたい名所を紹介する 参考資料：日本と世界の名所紹介例	L, R, SP, W	ア	ウ、エ	96～99	2
Reading 2: The Gift of Tezuka Osamu	伝記を読んで、時系列に沿って整理する	R	ア	ア、ウ	100～105	5
Useful Expressions ②	買いもの	R, SI	ア、イ	ア、ウ、エ、オ	106	1
Lesson 8: Rakugo in English	間接疑問文、SVO + to do (V = want, tell, ask など)	L, R, SI, SP, W	ア、イ	ア、イ、ウ、エ、オ	107～115	7
Tips for Reading③	グラフを使った文章を読み取るコツ	R	ア	ウ	116	1
Lesson 9: Gestures and Sign Language	SVOC, SVO + 原形不定詞 (V = let, help)	L, R, SI, SP, W	ア、イ	ア、イ、ウ、エ、オ	117～125	7
Activities Plus 5	Lesson 9 までの言語材料での Q&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	126	帯
Tips for Writing③	読み手を意識した英字新聞をつくるコツ	W	ア、イ	イ、ウ、エ、オ	127	1
Project 3: Let's Introduce Japanese Culture	日本文化を紹介する 参考資料：さまざまな日本の文化紹介例	L, R, SI, SP, W	ア、イ	ウ	128～131	4
Reading 3: How William Hoy Changed Baseball	場面ごとに登場人物の気持ちの変化を読み取る	R	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	132～136	5
Further Reading: Somebody Loves You, Mr. Hatch	物語を読んで、概要を理解する	R	ア	イ、ウ、エ、オ	137～142	5
語形変化のまとめ／形容詞・副詞比較変化表／不規則動詞変化表／重要構文復習リスト／Think & Try! 活動例／分野別用語集／Word List					144～176	
つづりと発音／Can-Do 自己チェックリスト					後見返し	
						109